

国保・介護保険料の軽減を!

日本共産党津山市議員 久永 良一



八世帯)は所得百五十万円为国保料は二十四万八千円、これでは生活できない。まるで社会保障が暮らしを壊しているようなものだ。

答弁 国保は相互扶助だ。誠心誠意対応したい。

市長は庶民感覚、財政危機ともズレていないか

質問 国保料を納めることもままならない庶民の生活、津山市の危機的財政状況、議会が三十万円の削減をしたことを考えると行政改革の責任者として市長の退職金や市長専用車の廃止を行うなど思い切った改革をすべきだ。

答弁 思想信条を異にしている。

借金の雪だるま?公募債

政津クラブ 秋山 幸則



募集単価等具体的な内容はどうなっているのか。お金の帰属先は自治体ではなく、返還が必要な借金である。借り換えの連続という、自転車操業的な財政運営となるのではないのか。十分な議論をしたのか。

答弁 発行額は、当面二億円を予定しており、購入対象者は市民に限定したい。発行の時期、募集単価、償還期間、中途解約の取り扱いなどは今後、具体的な検討を行うが、利率は、国債をやや上回ることとなる。公募債の販売は、金融機関を窓口とするため、手数料を支払うことになるが、慎重に処していきたい。

質問 住民参加型市場公募債を発行し市民参画の市政、資金調達方法の多様化を図り、教育施設の整備、充実に活用すると言われているが、発行予定額、

正直な市民がばかをみる

津山再生クラブ 河本 英敏



質問 アルネ県支援金について、市長は、「水面下の話、履気楼」。議会はそれを

信じて、二度までも議決したのは市民をだましたことになる。その一員として反省します。市民の声は、市長はリコールで責任を取らせたが、議員は一つの責任もとらず、「あんたらええのお、無責任で」と言われたのは私だけでしょうか。市長の耳には、どのような声が聞こえ、どうお考えでしょうか。

高齢福祉対策・学童保育などの複合施設

新風会 庄司 勝義



答弁 今年度より介護保険法改正があり、介護認定を受けていない人も地域支援事業として通所介護や、地域公会堂を利用しての、こけないからだ講座などで支援を広がっている。また地域参加型「リハビリ教室」「津山市老人福祉センター」や公民館での高齢者講座、老人クラブ活動などにより、住み慣れた地域内での交流の場を提供し、孤立防止に努めている。

現在、市内に複合施設はないが、今後は国の補助金を活用し、先進的な施設整備事業を民間業者から募集して施設整備の推進を図りたい。国や県の動向にも注目していく。

質問 昼間に独居となる高齢者の対策は、高齢者、障害者及び学童保育等の複合施設の現状、将来的な計画は。